

東部中学校区 SC だより

令和5年9月発行 VOL.04

東部地区生活支援コーディネーター(通称：SC^{えすしー})1年目の新美です。
9月は世界アルツハイマー月間です。
アルツハイマー病はじめ認知症に関する認識を高めるきっかけの期間
となっています。今月は、東部で行われている認知症に関する取組み



新田小5年生の学び

「ふくし」の授業で、①歳をとるってどういうこと？②認知症サポーター養成講座/認知症カルタを実践し、“高齢者”の勉強を行いました。

歳をとると起こる身体の変化や影響を学び、認知症については紙芝居やカルタを使って理解を深めました。授業終了後には、みんなそろって
“認知症サポーター”になることができました！



🔍 認知症カルタ

日本福祉大学の学生が作成したオリジナルのカルタです。高齢者サロンへの貸し出しもできます。気になる方はぜひ気軽にお問い合わせください。

チータン



◀読み札の一部

『財布どこ？』
一緒に探そう
おばあちゃん



否定しない
言ってることを
受け止めよう



＼ 私たちも参加しました / チームオレンジ

東部地区には、“地域の立場から”
“地域の視点で”認知症の方を見守る
団体「チームオレンジ」があります。

発足2年目でメンバーは25人。全員、東部地区に
お住まいの方々です。

この日新田小で行われた授業では、メンバーのうち
3人に協力をいただき児童の学びを見守りました。

Q.なぜオレンジなの？

オレンジ色は、「世界で認められますように」という
願いが込められ、認知症普及啓発色とされています。



＼ この授業に使われています / 赤い羽根共同募金

10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国一斉に開始
されます。皆様から頂いた募金は、上記のような授業の環
境整備に充てるほか、車いす
やサロンへのレク用品などの
貸し出し物品にも使われてい
ます。今年度も皆さまのご協
力をお願いします。

